

真浄山 常照寺 妙見さん七夕まつり

7月7日(金)、龍野町福の神、真浄山常照寺境内において、第13回妙見さん七夕まつりは、500人のお祭りを祝う人たちと共に開催されました。妙見さんは北の夜空に輝く北極星を神格化した神様で、家来が北斗七星と言われています。

300個の天の川に見立てた竹行燈が、午後7時半の半鐘を合図に点燈されます。老若男女の人たちは妙見さんに「願い事」



七夕灯籠・竹行燈

を短冊に書き、笹竹に結び付けます。子供達も真剣な顔で願い事を書いていました。

本堂からは澄んだ歌声と本の読み聞かせが聞こえてきます。

七夕まつりには、町づくり協議会(イベント交流部会)により、七夕前後に七夕笹飾りが140本商店街に設置されます。龍野北高等学校の生徒による七夕灯籠、ボランティアの接待と、皆様方の協力を得ています。

「妙見さんの七夕まつりは、戦争で一時中断しておりましたが、日本古来の季節行事であるお祭りとして再開できました。皆さまのお書きになったお願いごとの短冊は、一枚、一枚、仏さまに心を込めてご祈願いたし



笹竹に願い事を

ます。龍野の夏祭りは妙見堂から始まる」と常照寺の住職、谷口慈修様はお話されました。

人々の弾んだ声。喜びがあふれる境内。妙見さんは、地域を守り幸せを願ってくださいませ。風に揺らぐ竹行燈のろうそくの火は、幽玄の世界へといざなってくれました。

【取材・文責：浜田多代子】

おくとう市(赤穂市坂越浦)

坂越浦を臨む歴史ある酒蔵の中庭で、5月28日(日)第14回おくとう市が催されました。楽しい店が約50店並びます。

その中の一つオカンの食堂、〈オカン食堂特別企画〉「マミー」では、ステレオから流れるなつかしのGSサウンドと共に蘇る青春!喫茶でのメニューには、コーヒー、レスカ、クリソー、ナポリタン、カレーライス、



蜂蜜販売コーナー

サンドイッチ、と昭和の匂いが蔵いっぱい漂っていました。

他には地酒の飲み比べや利き酒コーナー、ハンドメイド作品、新鮮な農水産物、植物、リラクゼーション他、とても賑わっています。又、たつの市からの自家製蜂蜜を販売している店の前には、たくさんの女性客がいました。試食をしている女性は、「うん、うん」と言いながら、1つ、2つそして友達にも!と言いながら、3つもお買いあげ・店主の顔もニコニコ。

又、この日には、来穂されていたラジオパーソナリティの谷五郎さんも来られて、ファンの方達と握手をされていました。今日もおくとう市はとても賑わっていました。



手作り工房

おくとう市は、毎年奇数月(7月は除く)の最後の日曜日に開催されています。月によっては、ちんどん屋、ライブ、手打ち蕎麦コーナーといろいろな催しものがあり、いつもとても賑わいます。どうぞ歴史のまち坂越浦にお越しください。

問い合わせ：090-5012-0617

(新井さん)

【取材・文責：神戸八重子】